

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	新地方公営企業会計制度移行事業			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者 (課長)	徳原 克志	評価責任者 (部長)	藤田 真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	上下水道事業	事業の目的 (意図)	経営状況や財政状態を明確にすることにより、説明責任を果たす
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●改正された地方公営企業会計制度に基づき、資本剰余金の整理作業を実施 ●新しい基準による平成26年度決算を調製 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値	100.0	100.0	—
				実績値	100.0	100.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円					
	(予算額) うち一財	千円					
	直接事業費	千円				対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円				事業完了	
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
支出コスト	千円	決)0	決)0				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	制度改正にかかる情報収集に努め、近隣市等とも情報交換しながら作業を進め、データを十分に精査し、資本剰余金で取得した固定資産の整理と前受収益への振替額を確定させ、これをもとに決算を調製した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 なし
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	予算・決算への適正な計上を継続	評価責任者コメント	会計制度の改正に伴うシステム変更等もスムーズに完了し、新たな会計制度のもと、事業経営を実施している。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
新会計制度移行事業は、平成27年度中の事務をもって終了した。平成29年度当初予算においても、移行初年度となった平成26年度の予算・決算と同様、新制度に基づき適正に調製しており、今後もこれを継続していく。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	資本剰余金整理事業	資本剰余金で取得した固定資産の整理、前受収益への振替額の確定	平成26年度予算、決算へ計上した	否		1.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	経営健全化推進事業			
担当部・課名	上下水道局 財政課	評価者 (課長)	徳原 克志	評価責任者 (部長)	藤田 真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	上下水道事業	事業の目的 (意図)	持続可能な事業運営を行う
事業の内容 (手段)	毎年度定期的に事業内容の検証、精査を行い、経常経費や投資的経費の縮減を図る		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
				目標値	100.0	100.0	100.0
				実績値	100.0	100.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円					
	(予算額) うち一財	千円					
	直接事業費	千円				対28年度増減理由	対29年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	0	0			
人工数	人						
支出コスト	千円	決) 0	決) 0				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	料金収入が減少傾向にあることから、効率的で効果的な事業を推進するため、実施計画の見直しを行っている 平成27年度には経営健全化計画を策定した	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 実施方法や実施時期を検討する必要がある
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	経営健全化に向けた職員の意識付けを徹底し、実施計画の見直しを予算に反映させるとともに、経費節減を図る	評価責任者コメント	今後も市民生活にとって欠かすことのできない重要なインフラ施設として持続的なサービスの提供を図っていくためには、常に業務の見直しや民間活力の導入を図り、コストの削減、企業債残高の縮減、そして内部保留の維持に努めていく必要がある。 こうしたことから、平成27年に策定した経営健全計画を、常に状況に応じて見直しを図りながら、着実に、そして確実に実行していくこと。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 経営健全化への取組みとして、ダウンサイジングや施設の統廃合に向けた事業費を計上するとともに、企業債利息の縮減を図った。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	実施計画見直し事業	事業費の平準化や優先順位の見直し	実施計画を見直し、予算編成に反映	否		1.00	
②	経営健全化計画策定事業	目標値等を設定	経営健全化を進めるにあたり、基本となる計画を策定した	否		1.00	
③							
④							
⑤							